

公益社団法人小山市シルバー人材センター
役員の報酬等及び費用に関する規程

(目的及び意義)

第1条 この規程は、公益社団法人小山市シルバー人材センター（以下「センター」という。）の定款第28条の規定に基づき、役員の報酬等及び費用に関し、必要な事項を定めることを目的とし、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般社団・財団法人法」という。）並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（以下「公益認定法」という。）の規定に照らし、妥当性と透明性の確保を図るものとする。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいう。
- (2) 報酬等とは、公益認定法第5条第13号で定める報酬、賞与その他の職務遂行の対価として受ける財産上の利益及び退職手当であって、その名称を問わない。費用とは明確に区分されるものをいう。
- (3) 費用とは、職務の遂行に伴い発生する旅費、手数料等の経費であって、報酬等とは明確に区分されるものをいう。

(報酬等の支給)

第3条 センターは、役員の職務遂行の対価として報酬を支給することができる。

- 2 理事長の報酬は月額とする。
- 3 前項に規定する者を除く役員報酬は日額とする。
- 4 日額報酬の役員が4時間未満の職務に従事した場合は、前項の規定にかかわらず日額の2分の1の額を支給する。
- 5 役員には賞与及び退職手当を支給しない。

(報酬額の決定)

第4条 役員の報酬額は、別表に定める金額を上限として、総会の決議を経て決定するものとし、日額の報酬はセンターの業務に従事し日数に応じ支給する。ただし、職員及び地方自治法（昭和22年法律第67号）第204条第1項に規定するものが役員を兼ねるときは、報酬等を支給しない。

- 2 役員が使用人を兼ねる場合は、報酬等を支給しない。

(報酬等の支給方法)

第5条 報酬等は、理事長が定める日に、その役員が指定する金融機関の口座への振込により支給する。

- 2 報酬等は、法令等に定められた控除すべき金額及びその役員から申出のあった立替金及び積立金等を控除して支給する。

(費用)

- 第6条 役員が職務のため旅行した場合には、その役員に対し、旅費を支給する。
- 2 前項の規定により支給する旅費の額は、職員に支給する旅費の例による。
- 3 センターは役員が職務の遂行にあたって負担した費用については、請求のあった日から遅延なく支払うものとする。
- 4 前2項の旅費等の支給については、第5条第1項の規定を準用する。

(公表)

第7条 センターはこの規程をもって、公益認定法第20条第1項に定める報酬等の支給の基準として公表するものとし、これを変更したときも同様とする。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、総会の決議を経て行う。

(補足)

第9条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

附則

- 1 この規程は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の登記の日から施行する。

附則

(施行期日)

この規程は、令和元年7月1日から施行する。

別表（第4条関係）

| 区 分 | 報 酬 額 |
|---------|------------|
| 理 事 長 | 月額 80,000円 |
| 副 理 事 長 | 日額 8,000円 |
| 専 務 理 事 | 日額 8,000円 |
| 理 事 | 日額 7,000円 |
| 監 事 | 日額 7,000円 |